

●春の野草を食する会 4月8日

当日は前日の雨も上がり花曇りでした。天気は持つだろうと思っていました。そして申込者も50人を少しオーバーになるとしていましたが、当時欠席者が発生して、準備態勢の範囲の参加者でした。湯川さんや近藤さんらの指導者も顔を出していただきました。今回の顔ぶれでは初参加者が大半を占め、興味深く学習をされておられました。会場は手持ちのテーブル10脚をとことろ狭しと並べてゆっくりと楽しんでいただけるように手配しました。採取してきた野草は随分大量に用意出来ました。ヨモギ セリ ミツバ ツクシ タンポポ スイバ ノビル カラスノエンドウ ウシハコベ ヒメジョオンなど春を主役が採取されました。これまで採取されていなかったタケノコが今回は加わりました。里山農園でこれまで山菜の王様とされてきたタラノメはいずれも枯れてしまって採取できませんでした。ずいぶん大きく育ってきたと思っていましたが。しかし持ち込んでいただいた中にタラノメがありました。ヤブカンゾウ ドクダミ ユキノシタ ワサビナにワラビなどが加わって、たらふく食味することができました。これでは満腹出来ないだろうと見込んでご飯を用意していただきましたところ案の定用意できたご飯もきっかりなくなりました。頃合いかなと思っていたところ雲行きが悪くなり、思わぬ時期に急に雨が降り出して、皆さんにジャガイモの植付け作業を行っていただこうとしていましたが不可能になってしまいました。小降りになったところで解散となりました。京都市内や大阪からも来ていただきました。感想を聞いてみましたら、また来た



いという歓迎の声をたくさん聞かせていただき、開催してよかった、やりがいがあったと感じました。スタッフの皆さんは、前日の下見や備品の点検など2日間にわたってご苦労様でした。ありがとうございました。

●2022年度京都地域交響プロジェクト交付金の実施報告書が受領される

提出が期日ギリギリの4月10日にやましろ振興局に提出いたしました。2022年度は3か年計画の中間年として14項目の事業に取組領収書が240枚以上という規模になって整理が大変でした。しかし皆さんの協力があってどの事業も完ぺきに実行できましたので助かりました。特に今年の夏の異常気象やコロナ禍の中での取組でしたので、皆さん大変ご苦労いただきました。夏の魚とりやカヌー体験そして冬の大雪など天候に配慮しなければならない事で気苦労が続きました。し

かし皆さんの後押しがあつて困難を乗り越えられました。ご協力に感謝しています。これで終わりではなく 2023 年度は 3 か年計画の最終年度にも挑戦することになってきますので、前年以上のご協力をお願いいたします。4 月早々の「親子花見乗船体験」や「春の野草を食する会」などの大きな取り組みが不成功しています。よろしくお願いいたします。

●新しくご加入いただきました。

3 月に実施した京田辺市の中央図書館での里山展において活動の説明をお聞きいただいて里山の会に興味をもって下さって、即入会をいただいた木村さんは、パソコンが得意で、入会と同時にお手伝いに事務所に連日顔を出していただいています。私たちは高齢でもあり、なかなか新しい技術を習得することが難しくなっています。これまでそれらの教師を行っておられたとことで、力を発揮していただいています。安心してパソコンを扱うことができるようになりました。これからも活躍に期待しています。よろしくお願いいたします。

●2023 年度通常総会の開催日のお知らせ

過日の事務局会議で 2023 年度の通常総会は 4 月 28 日（金）13:30 から京田辺市中央公民館大ホールで開催すると確認されました。今年は役員（理事）の選出を行わなければなりません。社員の皆さんのご出席をぜひよろしくお願いいたします。

●2023 年度の事業について会員の皆様のご提案をお寄せください。お待ちしております。

2022 年度は全イベントに 3975 人の参加を得ることができました。ほんのもう少しで 4000 人の大台を突破も目前になってきました。ここまで躍進ができて、さらに躍進充実できるよう頑張りたいと思います。しかし理事の多くは高齢の皆さんで、若手幹部への切り替えを進めなければと叫ばれて数年が経過しています。「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンを継続するために大いに私がと名乗り出ていただきたいものです。またこのお方をと、ご推薦をお願いいたします。またここ数年は会員の減少も右肩下がりで、このまま推移すると解散も視野に入れなければならない事態に陥る可能性も無きにしも非ずという組織的な大きな課題に直面しているのが現状です。これまでの 25 年間は財政問題が最大の課題で艱難辛苦（かんなんしんく）の時代でしたが、25 年が経過したこの時最大の課題は「若手の後継者による運営」が課題で「会員確保」の二大課題に直面しております。これまでの蓄積から信用度が増して各イベントには参加人数の把握も整い準備規模も安定して進められるように改善が進められるようになりました。まだまだ内容充実には課題が残りますが、力を寄せ合えばきっと課題は解決できるものです。こうした課題が解決できる方向を見つけ出せる通常総会にするために積極的に集まりいただき、ご意見を是非お願いいたします。